



VOL.38

男と女のいきいきコラム



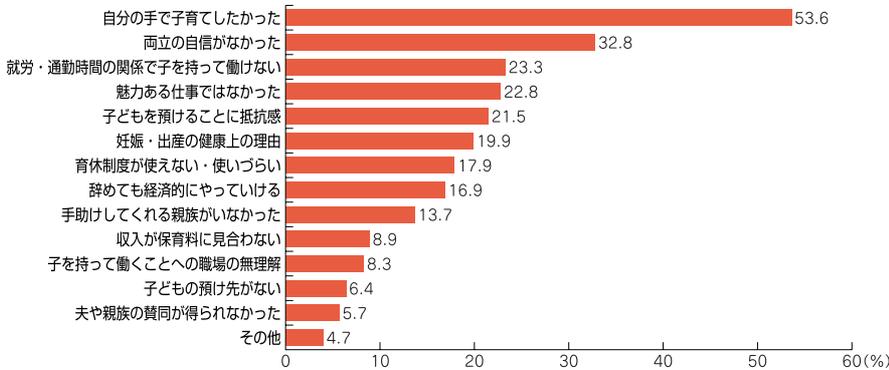
育児と仕事のバランス

平成15年ころは、働く女性のうち約7割が出産を機に離職していたようです。彼女たちの多くは「自分の手で子育てしたい」という希望のため離職していましたが「子どもを持つて働くことへの職場や周囲の無理解」や「配偶者の就業時間が長く、子育ての手助けがない」など、仕事を続けたいけれど子育てと仕事を両立する環境が整っていないことを理由に挙げる人も少なくありませんでした。

また、働く男性のうち約4割が配偶者の出産後に育児休業を取得したいと考えていましたが、実際に育児休業を取得する人は1割に満たなかったようです。彼らの多くは「職場の雰囲気や仕事の状況」のため、育児休業を取得できずにいました。また、就業時間が長いいため、育児時間が取れない人も少なくありませんでした。

近年、日本の社会は、働くお

出産前に仕事を辞めた理由



(備考) 1. 独立行政法人労働政策研究・研修機構「育児休業制度に関する調査研究報告書」(2003年)により作成。
 2. 「出産前に仕事を辞めた理由は何ですか」という問いに対する回答の割合である(複数回答)。
 3. 回答者は、1992年4月2日から2001年4月1日までに第一子を出産した女性のうち、結婚後も仕事に就いていたが出産前に仕事を辞めた614人(東京都杉並区182人、東京都江戸川区219人、富山県富山市・高岡市213人)。

母さんを応援するため、また、育児をするお父さんを応援するための環境づくりを急速に進めています。これまで、社会の裏側に隠れていた「働き続けることを望む女性の社会性」や「育児をしたい男性の家庭的な側面」に着目して、パートナーの双方が育児と仕事の最適なバランスを見つけて実現できる社会へと変わり始めています。

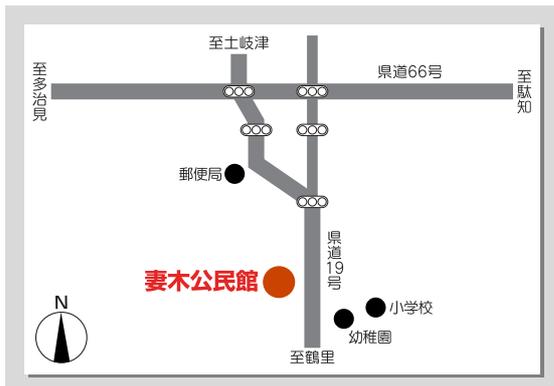
「しろやま公民館」の愛称で親しまれている妻木公民館は、平成16年に完成した新しい公民館です。館内には郷土資料室が設置され、妻木町の歴史を語る貴重な史料が展示してあります。

地域のまちおこしの一つとしてスタートした妻木城址の会が独自の活動をしています。「ふるさと講座」、「古文書を読む会」など、歴史的な展開を特徴とした活動を実施し、より多くの方が郷土の歴史に触れることができる機会を提供しています。

6月から開催されている「手づくりよろいかぶと教室」では、ダンボールでよろいかぶとを作っています。少しずつ完成に近づき、10月にはよろい武者行列として皆さんに披露する予定です。

また、3月には「ふるさと講座」の一環として「歴史散策」を開催し、妻木町の歴史と春の陽気を感じながら妻木町内を散策します。

◆住所 土岐市妻木町 1370-1 ☎ 057-4564



第16回

施設紹介

妻木公民館